

FALプロジェクト概要



司法

テーマ

子どもの声を聴く仕事 — 困難な状況にある子どもを支援する現場を知る —

連携先

司法面接トレーナーの会

主な活動場所

子どもから話を聴く現場への訪問(2024年度は大阪家庭裁判所庁舎見学と家裁調査官/事務官との座談会を予定)

② 研修で使用する動画の撮影地(学内、または大阪府内で履修者と相談の上決定)

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

児童虐待、被害者支援、離婚と子ども、子どもの権利(意見表明権)、動画作成

活動内容 概要

「こども基本法」の制定や「こども家庭庁」の設置から、「子どもの権利」への関心が高まっており、様々な場面で子どもの声を聴くこと(意見表明権)の重要性が強調されている。しかし、子どもの声を聴くことは簡単ではなく、特に児童虐待や犯罪に巻き込まれた子ども、両親の離婚や非行問題などに関与した子どもから話を聴くことは大変難しく、特別な聴き取りが必要とされる。そのため、そのような子どもたちに対応する警察や児童相談所、家庭裁判所では子どもから話を聴くための特別な研修を実施している。

本プロジェクトでは、子どもの声を聴くための取り組みや仕事の実際を知り、子どもから適切に話を聴くことにつながるより良い研修ができるよう、研修で使用する動画作成を通して、学生の立場から支援を行う。

活動の目的

- ① 児童虐待や犯罪被害、両親の離婚や非行問題などに関わる子ども支援の実際について知り、学生の立場から取り組みに対する意見を伝える。
- ② 子どもから適切に話を聴く研修に使用する動画を作成・提供し、子どもから話を聴く取り組み(子どもの意見表明権の保障)を学生の立場から支援する。

求める人材像

- ・児童虐待や、被害者支援、離婚と子ども、非行、子どもの権利擁護に関心がある学生
- ・警察官、児童相談所職員、家庭裁判所職員や教員を志望する
(または、それらの仕事に関心がある)学生、子どもと関わる仕事に興味のある学生

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 子どもの声を聴き、適切に関わるための知識とコミュニケーション力
- ▶ 児童虐待や犯罪被害者支援、離婚や非行問題などに関わる様々な施策や支援、それらを担う専門職に関する知識